

第104号

平成29年1月20日発行

発行所 川崎市地域女性連絡協議会  
〒210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-3  
教育文化会館内4F

電話 話人 青木 恵美子  
発行 集 木 恵 美 子  
編 集 広 報 部  
印 刷 所 有限会社 協立印刷社

# 女性かわさき

活動目標  
学習・親睦・奉仕

川崎市地域女性連絡協議会



女性会のさらなる一歩へ

会長 青木 恵美子

あけましておめでとうござ  
います。皆さまにはお健やか  
に新年をお迎えのこととお慶  
び申し上げます。

昨年はリオのオリンピック  
クでの日本選手の活躍に拍  
手を送り、フィギュアスケー  
トの羽生結弦選手の快挙と、  
大隅良典氏のノーベル医学生  
理学賞の受賞と相俟って、日  
本人の素晴らしさを改めて強  
く意識した一年でした。しか  
し国内では熊本地震や、台風  
による洪水被害、そして毎日  
の報道では「いじめ・虐待・交  
通事故」等の悲惨な話題に心

痛める日々でもありました。  
川女連は昨年七十周年を  
迎えました。戦後の荒廃の中、  
女性も力を合わせて復興に、  
女性の意識改革にと、先輩  
達の長く真摯な努力の結果  
を大切に繋ぎ継いで、現在の  
川女連があります。



三〇一七年度  
市長年頭あいさつ

川崎市長 福田 紀彦

新年、あけましておめで  
とございます。

国の人口が減少するな  
か、本市では予測を上回る  
人口増が続く、今年中には  
一五〇万人に達する見込み  
です。特に子育て世代の  
転入が多く、「選ばれる都  
市」として進化を続けてい  
ます。昨年は、市政の今後  
一〇年間の方向性と取組を  
定めた総合計画を策定しま  
した。特に、今後さらなる  
高齢化やケアを必要とする  
方々が増えることから誰も  
が安心して暮らし続けられ  
る地域づくりが重要です。  
そのため、各区に「地域み  
まもり支援センター」を設  
置して、近所での顔の見え  
る関係をつくり、お互いに  
支え合う地域包括ケアシス  
テムを本格的にスタートさ  
せました。

今年、子育て環境をさ  
らに充実すべく、小児医療  
費助成の対象を小学六年  
生まで拡大し、待機児童対  
策にもより一層の力を入れ  
てまいります。さらに、中  
学校給食も今年中にすべて  
の中学校で温かく、美味し  
く、健康的な食習慣を身に  
付けられる「健康給食」の  
提供を開始します。

全国各地で地震や風水害  
も頻発しております。市と  
して安全な避難・輸送ルー  
トの確保や公的な備蓄内容  
の見直しなど、様々な取組  
を強化してまいります。ま  
た、市民の皆様には、町内  
会などへ加入し、参加する  
ことにより日頃から地域  
で助け合う体制を整えて頂  
くことを強く願います。

新しい施設としては、富  
士見地区に体育館と大ホー  
ルを併設したスポーツ・文  
化総合センターをオープン  
し、川崎駅の北口自由通路  
はじめ、交通拠点の整備を  
推進してまいります。

羽田空港と川崎を結ぶ橋  
の整備も、いよいよ始めま  
す。臨海部に世界最先端の  
研究機関や企業が集まり、  
わが国の成長をリードする  
拠点として形成を進めてま  
いります。

川崎が持つ多様性は可能  
性であり、皆が混ざり合う  
強さとやさしさは、より良  
い社会への変革に向けた一  
歩となります。これらの取  
組を皆様と一緒に進めると  
ともに、引き続き、市政の  
課題解決に全力で取り組ん  
でまいりますので、ご協力  
をお願いいたします。

黒岩祐治県知事との対話の広場・川崎会場

# 知事と語るの！ 人生二〇〇歳時代の設計図

十月二十五日、ソリッドスクエアホールにて

黒岩知事との対話の広場が開催されました。

神奈川県年代別人口の構成を見ると、一九七〇年のピラミッド型が、二〇五〇年には全く逆になり、八十五歳以上が一番多くなるそうです。そして、一四二人に一人が一〇〇歳以上と言われています。

事例発表では、発表者の内田裕久氏は川崎区殿町地区で、最先端医療の実用化に取り組んでおられます。



建物はライフイノベーションセンターと称し、IPS細胞をどうしたらビジネスに生かすことが出来るか、そして日本から、川崎から世界に向け発信「未病産業

創出」に努力研究中だそうです。

続いて私どもの青木会長による「川女連結成七〇年のあゆみ」も感銘をうけました。戦後の混乱の中「川崎婦人連盟」を開設、今なお活動を続けております。

その後、知事と参加者による意見交換がありました。高校生は感想を、ラップのお好きな方は皆の前で踊りを披露してくれました。

手話通訳やパソコン文字通訳などの気くばりがあり、盛会裡に終わりました。

嶋崎 美智子

事例発表者の内田裕久氏(株式会社KSP取締役社長)と川女連から青木恵美子会長の報告の後に参加者の意見交換が開かれました。

その中で、六十五歳男性が六十二歳からヒップホップダンスを始められ、今では若い人に体力的にも負けなると、元気なダンスを披露して下さいまし

山本 洋子

## この人に聞く

### パリ協定の目指すもの

川崎市地球温暖化防止活動推進センター

センター長 竹井 斎



パリ協定「気候変動抑制に関する多国間の国際的な協定(合意)」が二〇一五年

十二月、COP21(第二十一回気候変動枠組条約締約国会議)で採択された。翌

二〇一六年十一月四日、アメリカ、中国、EUなどの批准により、スピード発効した。パリ協定は一九九七年に採択された京都議定書以来、十八年ぶりとなる国際的枠組みであり、条約加盟一九六カ国、全てが参加するのは世界初である。

パリ協定は二〇二〇年以降の温室効果ガスの自主的な削減目標を示し、世界全

体で産業革命前と比べた気温の上昇を二度未満に抑えること、できれば一・五度に押さえることを目標とする。法的拘束力があり、今世紀後半には温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「歴史的」なものである。また、「参加国は削減目標をたて、五年ごとに見直し、国連に報告する」「温暖化被害への対応、適応策にも取り組む」「途上国への資金支援を先進国に義務づける」なども定められている。

日本は「二〇三〇年までに二〇一三年度比で二十六%削減、二〇五〇年には八〇%削減」の目標を

掲げているが、二〇一六年八月の政府世論調査では国民の半分以上が「目標を知らない」と関心が低い状況が続いている。政府のみならず、自治体、企業の動きも鈍い。

「温暖化を止める技術は既に人類の手の中にある。ないのはやる気だけだ」と言われている。必要なのは本気で地球温暖化に向き合う「志」。子ども、孫達の世代に向けて、今、一人一人が現状を認識し、皆で協力しながら取り組むことが求められている。「川女連」に期待するところ、大である。

### 子育て支援部 子育て、心のケア、ネット公開講座 強さと美しさの秘密は「食と活動」にあり

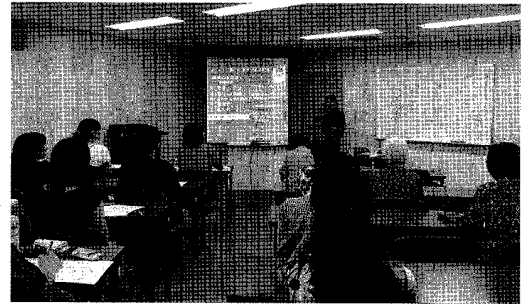
遠藤 唯吏

去る九月八日、高津市民館において、フィットネス・クリエイト代表の渡辺和久氏を迎え、表記のタイトルにて公開講座を開催しました。大好評だった昨年度に引き続きの講座で、今回は主に「活動」に関して伺いました。

健康にいいかは、個体差があるのもその人によって異なる。そのため、自分で判断する力が重要である。また、日々の生活の中、コツコツ積み重ねる力が必要であるということでした。

食事に關しては伝統的な和食を見直し、ご飯と味噌汁をしっかり摂るように心掛けるという事です。

健康を維持するための活動に關しては、身体に摂取された糖質は主に筋肉で消費されることを理解することが大切である。その筋肉を動かさない生活をしているから病気になる。つまり、トレーニングという一時的な運動でなく、日々の多く



の時間を占める日常生活動作(ADL)に目を向けることが重要とのことでした。

具体的にはADLを増やすためのコツとして、七カ条を教えて頂きました。まずは「背筋を伸ばす(姿勢を正す)こと」。「立位時間を増やすこと」。車の使用を控え、「歩数を増やすこと」。

エレベーターやエスカレーターを使わず「階段を利用すること」。カート、キャリーバッグは使わず「物を持つ、担ぐこと」。さらに、「自分のことは自分でする」のが大前提であるとして「掃除、整理整頓を徹底すること」。整理整頓をする人は、こまめに動くので太らないということでした。また「食事は自炊すること」。買い物に行つて、下ごしらえから後片付けまで、すべて立位のためです。その上、食事作りは考えながら身体を動かすことで、認知症の予防にもなるということでした。

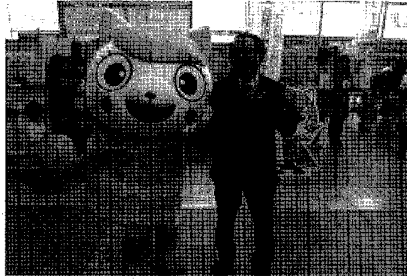
以上、当たり前のようで見過ごされていた知識に、参加者の皆さんは納得の表情。階段を見たら、ラッキーと思ひましょうという心構えも大切というお話が印象に強く残りました。

## 各部の動き

### 環境消費部 消費生活展 冷蔵庫で食品を 腐らせない日本人になる

石川 美由紀

十月九日、溝の口駅前で開催された、消費生活展に「食品ロスを減らそう」をテーマに出展しました。農林水産省のデー



テルミーニャと三浦副市長

タを元に捨てられている食品の実態にせまりました。食品ロスとは、本来は食べられるのに捨てられている食品のこと。日本の食品ロスは一年間で632万トンです。これは世界全体の食糧援助量320万トンの約二倍に相当します。その発生には製造・卸売・小売・外食・家庭が複雑に関わっており、それぞれの立場でできることから着実に進めていくことが大切です。

日本の食糧自給率(カロリーベース)は先進国中で最低水準の39%で、食料の約六割を海外から輸入しています。多くの食糧を輸入しながら、捨てている現状

です。食糧生産には、その国の土地、水、エネルギー、肥料、飼料、労働力など多くの資源が投入されており、食べ物を捨てることはこれらを捨てていることです。

世界の栄養不足人口は約八億人と高く、九人に一人が栄養不足の状態です。

食品ロス削減のためにすぐ家庭でできることは、①冷蔵庫・家庭内の在庫管理②計画的な買い物③食べ切り、使い切り④外食時、食べきれなければ、自己責任で持ち帰る⑤乾物、缶詰など保存食を利用しましょう。

### 意見交換

#### ごみゼロカフェ

十月二十二日に川崎市産業振興会館に於いて、川崎市環境局減量推進課主催の「ごみゼロカフェ(南部地域)」が行われ、川女連のメンバー六名が参加しました。



気軽な雰囲気の中で、「エコーラッシュ」について意見を交換しました。集まった市民は六

つのグループに分かれ、日頃工夫していることを話し合い、意見を発表しました。会の最後には生ごみは水を切る事と、ゴミ減量の三原則(リデュース・リユース・リサイクル)を確認しました。

普通ごみ収集が週二日になり、プラスチックとミックスペーパーの分別を始めて三年が経ちます。私たちは分別と同時に減量を考えて、子供たちにできるだけの負の遺産を残さないようにしたいものです。

**平和女性部  
戦争体験を伝えて**

岩本 孝子

十月十七日、生涯学習プラザにて青木会長の代理として川女連会員の戦争体験を伝える機会を頂きました。広岡守穂氏(中央大学教授)によるかわさき市民アカデミーの戦後世界の形成を考える講座で、二年にわたる高い専門性を備えた継続的な学習の場となっています。

まず、岩本より川女連戦争体験記「生きぬく」から手塚キヨ子さん(多摩区)の体験を抜粋し間接的ながら、家族を亡くされた悲しみと軍需工場の多い南部地域の空が真っ赤に燃え盛る「四月十五日の川崎大空襲」の恐怖について伝えました。次に、出田華子さんより名古屋での被災について

「生きぬく資源!」  
「農花人をなくす」(三ツ田ヘ)

和田 三恵子

十月二十九日生ごみリサイクル交流会がエポック中原で開催され、多くの市民と市内で生ごみ堆肥を花壇や畑で使っている団体が一堂に会しました。

講演は東京日野市の「コミュニティガーデン せせらぎ農園」から活動報告がありました。週二回約二百



世帯の生ごみを回収し、直し、接土と発酵させ微生物の力で野菜や花を無農薬、無化学肥

語っていたいただきました。戦中の苦勞も去ることながら戦後の食糧難ほど辛いものはなかった、闇米を違法とする食糧管理法違反で起訴された被告人を担当した「判事(裁判官)の餓死」について話されました。穏やかにインタビューしてくださった広岡先生と大学院レベルの一四二名の参加者と平和について考える貴重な機会となりました。

**第33回「平和のこころ」**

「感謝の気持ちで生きるために」

講師 横川郁子さん

(戦争体験語り部・元中学校教員)

日時 三月八日(水)二時

会場 教育文化会館三階

戦後の辛さを乗り越え、現在地域のリーダー的存在。横川流ストレスゼロの生きかたを学びます。

料で育てています。

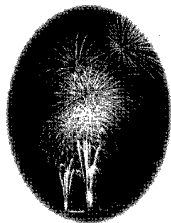
会則も会費も会員もなく、何時でも、誰でも、好きな時間帯に農体験できる農園で多くの人が集い、つながっています。生ごみリサイクルは「義務」から「楽しさ」で広がっています。

**神奈川県  
地球温暖化対策の取組**

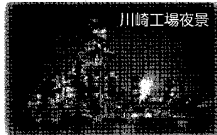
橋本 明美

十一月二十五日かながわ地球環境保全推進会議県民部会・企業部会が開催され、気象予報士の岩谷忠幸氏による「地球温暖化の現状と適応策について」の講演がありました。スライドに映る鬼怒川の氾濫が多摩川だったとしたら?想像するだけで恐ろしい事です。私達のできる緩和とは省エネをする、電車を利用する等、身近な事から実践し環境に対する意識を広める事だと感じました。

**また来たい・また行きたい KAWASAKI!**



多摩川花火大会



川崎工場夜景



生田緑地 丹波山

一般社団法人 **川崎市観光協会**

〒212-0013 川崎市幸区堀川町66-20 川崎市産業振興会館内  
電話: 044-544-8229 Fax: 044-543-5769  
E-mail: kankou@k-kankou.jp URL: http://www.k-kankou.jp

自然の美味しさをお届けします

豆の蔵で販売



本社 〒215-0027 川崎市麻生区岡上488-1 電話 044-988-4577 FAX 044-988-4923  
関西工場 兵庫県川西市 http://www.kajinoya.co.jp

**☆超人気シリーズ こざかなくん**

新鮮な小いわしを干しあげ、軽く味付けしました。

■お子様の骨の発達に!

★自然の美味しさを御家族皆様に!

●小袋入りだからいつでも開けてフレッシュ!



美しいお客様の笑顔が、私たちの誇りです。  
株式会社ヤマノホールディングス  
ジョッピングプラザ事業部

5g × 35袋 1,000円(税込)

お問合せ先: 16. 0120-365-610 ※全国最寄りの営業所に繋がります。

ひとクラス上のオシャレ  
GOOD TASTE GOOD WOMAN



ファッションクリエイター

**株式会社 トカイ**

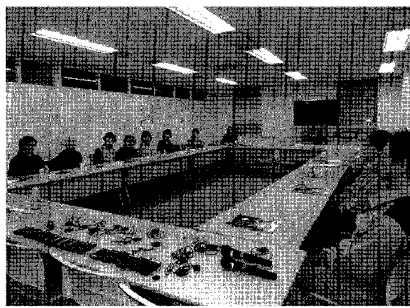
〒234-0054 横浜市港南区港南台7丁目33番17号  
電話 (045) 831-2231 (代)  
FAX (045) 831-2237

# 蛍光灯リサイクル工場見学

今 延子

十一月二十四日、雪交じりの寒さの中、青木会長以下十一名は送迎バスに乗り、鶴見JFE環境(株)蛍光灯リサイクル工場に到着しました。

櫻井社長も出席され、担当者から説明を受けた後、二班に分れ工場内へ案内さ



れました。

国内最大規模のプラントにより全国から持込まれたあらゆる形状の蛍光灯(直管、丸管、コンパクト管)は口金部を切断し蛍光粉、水銀は乾式回収、蒸留回収を経て水銀製品や蛍光灯に、口金は鉄、アルミ、プラスチックに選別、洗浄後新しい鉄、アルミ、プラスチック製品に再生されます。ガラス部は破碎され洗浄後ガラスウールや断熱材に生まれ変わります。

持込まれた使用済蛍光灯は企業からのもので一般からの持込みは少ないとのことでした。資源の少ない日本ではリサイクルを最大限利用したいものです。家庭か

らの廃蛍光管がもつと身近で恒常的に受け入れ可能な窓口があればと思いつつ帰途につきました。

## 蛍光灯分別収集開始

大橋 弘子

十一月二十四日にJFE環境株式会社の蛍光灯リサイクル工場を見学しました。帰りのバスの中では早くリサイクルの仕組みがでないものか、と皆で話し合いました。

偶然にも昨年の十二月に、「水銀使用製品を適正に回収するための法律」が施行されました。水銀の毒性は強く、危険な物質です。そして身の周りでは、蛍光灯・水銀体温計・水銀血圧計等に使われています。川崎市でも十二月より、水銀製品の分別収集を始めました。蛍光灯は普通ごみ収

集日に、普通ごみと分けて収集。水銀血圧計・水銀体温計・温度計は三十cm未満は小物金属で、それ以上は粗大ごみで収集されます。分別収集で適切に処理されるようになりました。



蛍光灯はLED電球に、水銀体温計はデジタル体温計へと世の中は変化しています。しかし、まだまだ製品は作られています。現在の蛍光灯のリサイクル率は三割程度だそうです。この分別を守って、法律を絵に描いた餅にしないように努力していきたいと思えます。

第六十四回全国地域婦人団体研究大会が、十月二十一日に埼玉県ソニックシティにて開催され、青木、岩本、岩崎が参加しました。

初日は五分科会に分れ「消費者問題」「男女共同参画の視点からの防災」「子育て支援」「食」「歴史」各々の講師の話を伺い勉強しました。私達三名が参加した「子育て支援」の分科会は、経済評論家・内閣府男女共同参画会議議長勝間和代氏と埼玉県

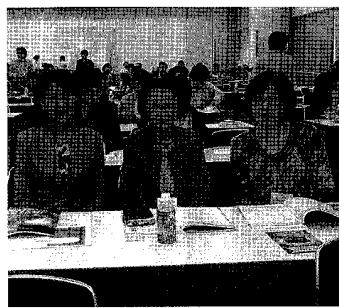
**全地婦連全国大会**

**あつまろう!育てよう!もりあげよう**

~未来へ羽ばたく婦人の輪~

岩崎 香代子

の講師の話を伺い勉強しました。私達三名が参加した「子育て支援」の分科会は、経済評論家・内閣府男女共同参画会議議長勝間和代氏と埼玉県



福祉部少子政策課課長今泉愛氏の講演でした。女性比率が高い会社は業績が高いという研究例もあり、少子化と男女共同参画は裏表だが、女性だけを優遇するのではなく社会全体で労働生産性を上げる必要性が話されました。二日目は、今回招待した中華全国婦女連合会の五人の代表、国際部長牟虹氏など来賓の挨拶の後、一昨年ノーベル医学生理学賞を受賞された大村智氏の講演でした。研究者としては異色

## 全地婦連 関東ブロック会議

今年度の全地婦連関東ブロック会議は九月二十九・三十日に山梨県富士吉田市のハイランドリゾートホテル&スパで開催され、川女連から会長副会長の三名が参加しました。

初日の分科会「地域防災のあり方」には青木、「高齢化社会にむけての取り組み」に岩崎「守ろう自然環境・今私たちができること」に岩本が各々参加し、グループ討議しました。

二日目の山梨県立大学教授精神科医の坂本玲子氏による「美しく楽しく生きる―脳とからだの使用法」の講演は、私達の今後の生き方の参考になるお話でした。

## 全地婦連幹部研修会

十一月二十八・二十九日国立女性教育会館にて開催され青木・岩崎が参加しました。

今年度の全地婦連事業計画に基づき「製品安全対策について」「地域での防災力を高めるために」「海から見た北方領土」と各々の問題についてより深い知識を得ることが出来ました。



文化部  
芸能大会開催

小山 久江

十月二十三日サンピアン  
かわさきに於いて恒例の芸  
能大会が開催され、多くの  
皆様にご参加いただきました。  
発表の日を目標に練習  
を重ね、舞台上に臨まれてお  
られるご様子はスタッフ一  
同に十分伝わっています。  
日頃の練習による舞台上は

全地婦連  
ゆたんぼ専門部会より  
ゆたんぼはエゴだけど、  
低温やけどに注意!

低温やけどは、心地よく  
感じる程度のもので、皮  
膚の同じ部分が長い時間接  
触していると発生するやけ  
どです。学説によると皮膚  
の温度と低温やけどになる  
までの時間は、44度で3〜  
4時間と言われています。

第三十一回 北方領土  
返還要求運動県民大会

井上 早苗

十一月二十二日(火)横浜  
情報文化センターにて開催  
されました。

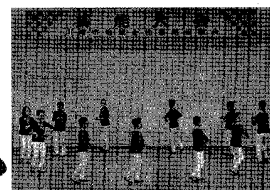
主催者挨拶 神奈川県議  
議長森正明氏、来賓の神奈  
川県副知事黒川雅夫氏のお  
話がありました。

北方四島ビザなし交流事  
業に参加された、川崎市立  
野川中学校教諭大坂誠氏の  
報告があり、続いて記念講  
演「プーチン大統領の訪日  
と北方領土交渉の見通し」  
と題して防衛研究所地域研  
究部長兵頭慎治氏による解  
り易い講演がありました。

最後に大会宣言、「私達  
は神奈川県民の総意を結集  
し北方領土の一日も早い返  
還を実現するため、県民会  
議設立の趣旨のもと決意を  
新たにし、さらにねばり強

より大きな収穫があったと  
思います。

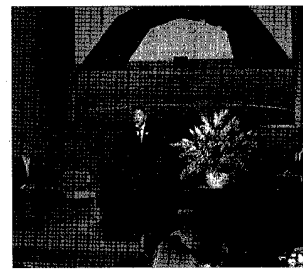
次回は六月二十四日 幸



文化セン  
ターを予  
定してい  
ます。ご  
参加よろ  
しくお願  
いします。

絶品歯舞昆布

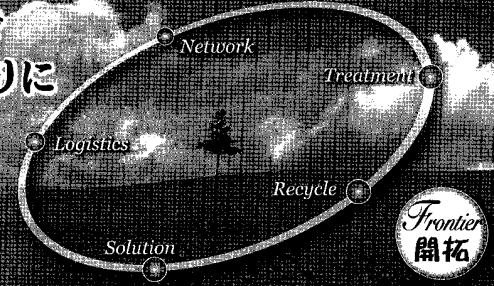
歯舞早煮昆布は全地婦連  
が北方領土返還要求運動の  
一環として、北方領土で採  
れた貝殻島産竿前(早採り)  
昆布を、歯舞魚協で袋詰め  
したものです。全地婦連限  
定昆布として取扱いをし  
ております。お問い合わせ、  
ご注文は川女連事務所まで  
TEL 044-221-7022  
FAX 044-221-7028



く運動を推進していくこと  
をここに宣言する」を採択  
し閉会となりました。

北方領土返還要求運動県  
民会議では、毎年「目で見  
る北方領土」を開催してお  
り船上から北方領土を視  
察、野付半島から国後島ま  
で十六kmの距離があり、そ  
こから八kmの中間ラインま  
で近づくことが出来るので  
皆様も是非一度参加され  
ては如何でしょうか。「重  
ねる対話 つなげる熱意で  
四島返還」「四島の未来 心  
かよわせ返還へ」北方領土  
に関する標語です。

豊富な経験と総合力で  
資源循環型社会づくりに  
貢献します。



JFE 環境 株式会社



新緑の水

良質天然カルシウムを含んだおいしい水  
北海道八雲町の自然が織り成す天然水

新栄商事株式会社

神奈川県川崎市川崎区四谷下町19番1号  
TEL044-266-7912 FAX044-276-2046 URL http://www.shineigp.co.jp/

極真カラテの加圧ビューティ・トレーニング

=見学・体験レッスン大歓迎=



ダイエット・若返り  
健康な毎日を!!

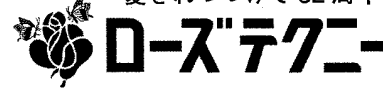
☆個人指導のパーソナルトレーニングです  
☆女性専用加圧ビューティ  
受付 TEL 090-4130-0400 成田迄

極真会館横浜川崎支部 成田道場

横浜馬車道道場内 横浜市中区南仲通4-55 国際馬車道ビル2F  
川崎大師道場内 川崎市川崎区伊勢町23-9

広く世の人々に 健康で豊かな生活の文化を お届けするため努力を続けます。  
何卒今後とも宜しくお願い申し上げます。

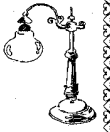
愛されつづけて 32周年



家庭用  
電位・温熱治療器

京都西川ローズの会会員店  
有限会社 リフレサービス

〒206-0001 東京都多摩市和田368-20  
TEL. 042-310-1553  
FAX. 042-356-2520



# 各地区では

## 多摩地区

### 長尾町会婦人部活動 文化祭

高橋 弘子

紅葉も終り、寒さが一段と増してきた十一月十九、二十日の二日間、長尾町会文化祭が開催されました。初日はあいにく曇りのち雨という中、町内の皆様より出品していただいた作品展を催しました。

翌日は、晴天に恵まれ、早朝よりお餅つき、乾物、野菜、柿、特に掘りたての大根や豚汁を販売しましたが、つきたてのお餅は、小豆餡、黄粉、カラミの三種類で、のし餅も作り八十キロのお餅もお昼過ぎには完売となり、後からお買い求めにこられた方々には、お



先生と一緒に楽しく踊る

気の毒なことでした。

午後からは、演芸大会を会館内にて行い、踊り、ハーモニカ合奏、カラオケ等で大勢の皆様が見物に来て頂き、大いに盛り上がり、一年おきの文化祭を無事に楽しく終了いたしました。残念なことは、野菜の高騰で毎回販売していたものが出せなかったことです。

## 菅町会女性部活動

### ふるさと祭り

廣田 公子

十一月二十日、前日から雨も上がり、さわやかな秋晴れの中、第三十二回ふるさと祭りがJA菅支店で稲田堤振興会・菅町会の共催で開催されました。

JA菅支店からは、焼き



獅子舞

ふるさと祭り会場では、町会女性部のフラダンス、書道教室のデモンストレーション、獅子舞、和太鼓の披露等々あり終日大賑わいでした。

そばや搗きたてのおもち、たまごのつかみ取りには行列ができ、地元の野菜や果物の販売も人気をあつめていました。

稲田堤商店街からの出店も沢山のお客さんで賑わいました。

菅町会は同会館にて、茶道部によるお抹茶のお点前や、華道部、俳句部のお教室の生徒さんの作品展示、会館前では甘酒や綿あめ、ポップコーン等の販売を女性部がお手伝いさせて頂きました。

菅町会では、お昼ごはんを待ちに待った子どもたちと皆さんでいただきましたが、どれもお味は大好評で、あつという間に平らげてしまいました。世代を超えて交流する機会がなかなかない今、様々なお話と、皆さんの知恵を教

## 川崎地区

### 体験学習

#### 昔の暮らし

尾留川 美江子

十月十八日川崎区女性会八名で渡田小学校の「昔の暮らし」の課外授業に参加して来ました。三年生の皆さんと一緒に七輪に新聞紙、割り箸、炭をいれ、団扇を使い四苦八苦しながら炭火をおこし、お餅を焼き、海



七輪でお餅焼き

昔はバケツで井戸水を汲みタライに水を張り衣類や敷布を一日係りで洗濯し大変だった事等を子ども達に伝えました。最後に先生と生徒達から感謝の言葉を頂き「火傷」も無く無事終わりほっと安堵の思いでした。

## キッチンおふくろ

黒岩 阿遊子

今年も地域子育て支援センター「ろば」では、「キッチンおふくろ」と題し、地域女性連絡協議会の皆さんにご協力いただき料理講座を行いました。外食やお惣菜では口にするけど、家庭ではなかなか作ることのない、酢豚にお赤飯、白和え、栗きんとんと、内容はとても豪華。参加された方々も、教えてくださる先輩ママたちと質問や会話をしながら手際良く積極的に調理に参加をし、とても有意義な時間となりました。



できていたとき、とても貴重な時間を過ごすことができました。このような企画を今後もぜひ続けていく事ができればと思っています。



- 北方領土返還要求全国大会
- 男女平等かわさきフォーラム
- 料理教室
- 平和のつどい
- 平成二十九年度川女連総会
- 芸能のつどい
- 全地婦連関プロ大会(神奈川)

# 川女俳壇

郷愁の母の香戻る菊脛  
 蟻螂の小さくも構え仰ぎ立つ  
 望郷のこたつに丸き母居りて  
 剝製を見せられし夜の菌汁  
 風渡る尾花の流れ偽らず

小林 初江  
 渡瀬 文子  
 安田 和子  
 小井戸直会  
 大島加代子

## 中原地区

川崎市平和館  
 写真展「不安全な人々」

大橋 弘子

十一月十二日から一か月間、川崎市平和館に於いて、写真展「不安全な人々」が開催されました。

不安全な人々とは、戦争・テロ・貧困・公害・風習などにより、平和で安全な暮らしを肉体的精神的暴力で脅かされる人々です。目には見えない社会全体が脅かす相手のこともあり、理不尽な不安全にさらされる人々の写真を見て私は思わず声を失いました。

フォトジャーナリストの林典子さんは、パキスタンやキルギスに滞在して女性の写真を撮りました。そこでは、結婚を断ったがゆえに顔に硫酸をかけられた女性や、男性に誘拐結婚をされて泣く泣く結婚をした女性たちがいました。男尊女卑の悪しき風習は今も世界には広く存在しています。

また、貧困で母親に売られた若い女性、貧困で麻薬

## 告口塔

二月七日(火) 国立劇場  
 二月十九日(日) 第四庁舎  
 二月二十一日(火) 中原市民館  
 三月八日(水) 教育文化会館  
 四月二十八日(金) 教育文化会館  
 六月二十四日(土) 幸文化センター  
 九月二十五、二十六日

に手を出す子供たちなどは、社会全体から見放されてしまっています。  
 この写真展は日本平和学会の協賛。DAYS JAPAN、恵泉女学園大学、福島菊次郎写真パネル保存会の協力で行われました。

## 市民祭り

山本 洋子

今年十一月四・五・六日の三日間富士見公園一帯で「川崎市祭り二〇一六」が開催されました。今年はお天気にもめぐまれ、五〇万人を上回る人出で大変盛り上がりしました。

パレード、バザー、フリーマーケット、ステージイベントと数多くの催し物も行われとても賑やかでした。



## 編集後記

暮れも押し詰まり、気忙しい中での校正を終えホッとしています。来年も変わらず、「学習・親睦・奉仕」の下で活動できる平和な日々を暮らせることを願っています。お忙しい中、原稿をお寄せいただきありがとうございます。

心つないで Smile For You...



JA CERESA KAWASAKI

# JAセレサ川崎

皆さまの街のJAセレサ川崎をご利用ください

【本店】〒216-0033川崎市宮前区宮崎2-13-38  
 TEL:044-877-2111(代) FAX:044-877-2211(代)  
 URL: <http://www.jaceresa.or.jp/>

株式会社

# 石 文

代表取締役 原 双葉

〒211-0062  
 川崎市中原区小杉陣屋町2-7-3

TEL (044) 733-5296  
 FAX (044) 733-5863